

令和7年度当初予算 概要

令和7年2月
都市戦略局

1 令和7年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和7年度 当初予算案(A)	令和6年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	3,571	2,938	633
土地区画整理事業 清算特別会計	1	1	0
駐車場特別会計	515	510	5
合計	4,087	3,449	638

※職員給与費を除く

2 主要施策

官民連携移住推進事業 8百万円

北九州市への移住を推進するため、民間事業者ならではのアイデアやノウハウを活かした官民連携による取組や、「北九州市」が移住先の選択肢の一つとして認識してもらえるよう、福岡都市圏へ通勤している方などの声を活かしたPRを行い、北九州市への移住人口の増加に繋げる取組を実施

■事業内容

●民間事業者ならではのアイデアやノウハウを活用する取組

北九州市へ移住する目的や様々なニーズに対応するため、民間事業者による北九州市の既存事業を活かした事業の提案募集や民間事業者ならではのアイデアやノウハウを活かした事業への支援等により、官民連携による北九州市への移住者の増加に向けた取組を実施

取組イメージ

民間事業者のアイデア・ノウハウの活用

行政による移住支援制度 × 民間事業者ならではの事業提案



民間事業者のアイデア・ノウハウ × 行政による事業支援



●福岡都市圏の移住検討者に対して「北九州市」を移住先の選択肢の一つとして認識してもらう取組

福岡市への人口集中等に伴う住宅価格の高騰を踏まえ、福岡市周辺への移住検討者をターゲットに、「北九州市」を移住先の選択肢の一つとして認識してもらえるよう、北九州市から福岡都市圏へ通勤している方などの声をPRツールとして活用し、福岡都市圏からの移住者を取り込むためのPRを実施

取組イメージ

「北九州市」を移住先の選択肢の一つとして認識してもらうPR

福岡都市圏へ通勤している方などの声を募集

その声を活かしたPRツール(動画など)を作成し、PRに活用

さらに

福岡市でのキャンペーンを実施



”これらの声をPR”



家族との時間も十分に確保できる!

期待する効果

- 移住支援金等を効果的に活用した、若者・子育て世帯のさらなる取り込み
- 福岡市周辺自治体へ移住を検討している世帯の取り込み



さらなる社会動態の改善へ繋げる

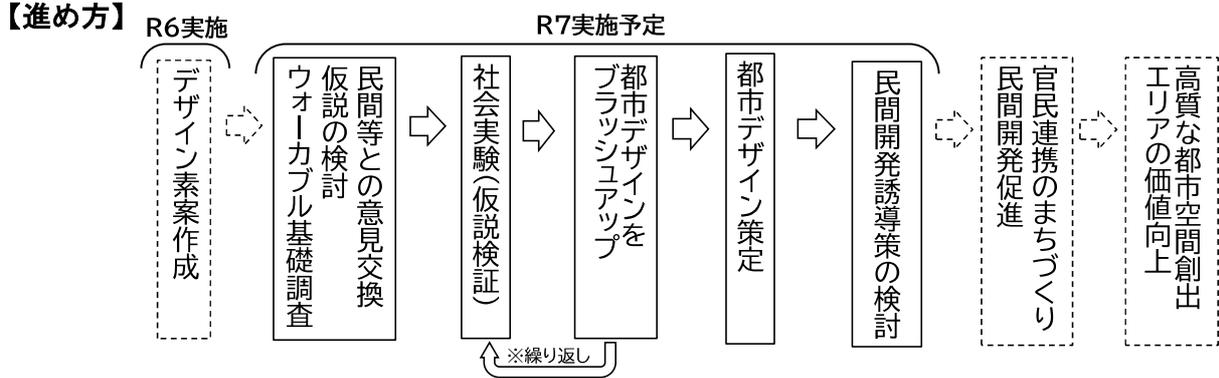
豊かで居心地のよいまちづくり事業 64百万円

エリアの価値を高める居心地のよい都市空間を創出するため、官民連携での社会実験を行いながら、高質で賑わいのある都市デザインを策定することで、新たな民間開発を誘導

■事業内容

●都市デザインの策定(小倉・黒崎)

都市デザインの素案をもとに、地区全体のまちづくりの方向性を民間等と議論を重ね、官民が協力してとりまとめる



【都市デザインのイメージ】



【ウォーカブル空間のイメージ】



●ウォーカブル空間の創出に向けた基礎調査・検討(小倉・黒崎・東田)

- 【実施内容】(小倉・黒崎) (東田)
- ・交通解析
 - ・道路空間再編に向けた検討
 - ・来街者の回遊実態の調査

●社会実験(小倉・黒崎)

【実施内容】

公共空間における集客、滞在時間延長につながる演出・イベントの実施、ベンチ・テーブルなどの憩いの環境づくり

(小倉)R6年度の紫川河畔での取組を継続しながら、勝山公園周辺の四季を通じたイベントと連携した公共空間の活用方策を実践し、更なる居心地のよい空間づくりを図る。

(黒崎)ふれあい通りにおいて、歩道空間を活用した居心地のよい空間づくりや、車道空間を歩行者に開放したにぎわいの空間として活用する社会実験に取り組む。

【社会実験のイメージ】



門司港滞在型観光強化事業 16百万円

門司港地区での回遊性の向上、滞在期間の長期化など滞在型観光を強化するため、空き家や古民家等の既存ストックを再生・活用してエリアマネジメントを行う「まちづくり会社」設立に向けた調査・検討や事業計画の策定を実施

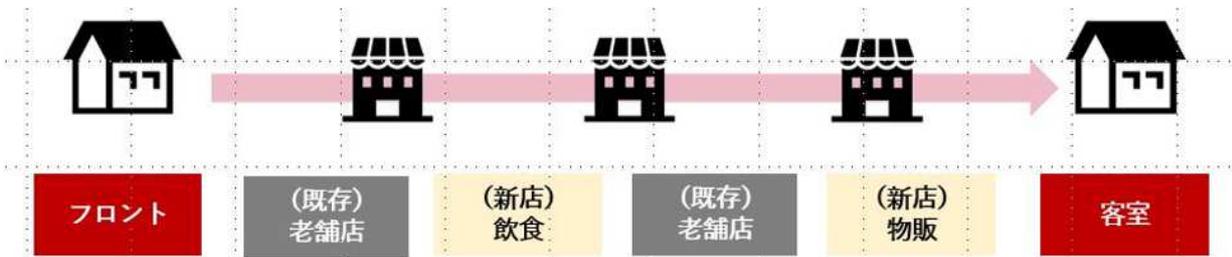
■事業内容

旅の玄関口となる門司港レトロ地区、栄町・商店街地区、旧料亭の多い清滝地区などを中心に、点在する古民家・空き家の再生・活用法の検討
 エリアマネジメントを行う「まちづくり開発会社」設立可能性の調査



●エリアマネジメントのイメージ

・回遊性向上、街中を歩くように配置設計



・資源は集約、リスクは分散



資源のイメージ(古民家・空家)

3 主な事業

「稼げるまち」の実現

●稼げる「基盤」をつくる

・下関北九州道路調査費 12百万円

関門地域の一体的発展を支えるとともに、関門国道トンネル・関門橋の老朽化への対応や代替機能
を確保することで西日本地域の広域道路ネットワークを支える極めて重要な道路として、下関北九州
道路の整備を促進

・北九州高速道路建設事業 290百万円

福岡北九州高速道路公社が実施する、北九州高速5号線(戸畑枝光線)の新設や、北九州高速1~4
号線における耐震補強等に伴い、設立団体として出資金・特別転貸債に係る経費を負担

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

新規・公民連携による公園魅力向上事業 8百万円

民間事業者の提案を踏まえた公園整備により公園の魅力向上を図るため、事業区域の現地測量、公
園施設の基本設計、概算工事費の算出等を実施

新規・未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業 28百万円

公共交通の利便性、持続可能性、生産性向上を目指すため、公共交通のDXやバリアフリー化等によ
り、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に
向けた検討を実施

新規・官民連携移住推進事業 8百万円

北九州市への移住を推進するため、民間事業者ならではのアイデアやノウハウを活かした官民連携
による取組や、「北九州市」が移住先の選択肢の一つとして認識してもらえるよう、福岡都市圏へ通勤し
ている方などの声を活かしたPRを行い、北九州市への移住人口の増加に繋げる取組を実施

新規・すまいる北九州 移住応援事業 124百万円

北九州市への移住を推進するため、若者・子育て世帯をメインターゲットとして、情報発信、お試し暮
らし、移住支援金や住宅取得等費用の支援等により、移住の検討段階に応じた切れ目のない支援を実
施

拡充・豊かで居心地のよいまちづくり事業 64百万円

エリアの価値を高める居心地のよい都市空間を創出するため、官民連携での社会実験を行いなが
ら、高質で賑わいのある都市デザインを策定することで、新たな民間開発を誘導

拡充・リビテーション推進事業 491百万円

小倉駅周辺等の民間開発の誘導と企業誘致の促進を重点的に図る「コクラ・クロサキ リビテーシ
ョン」を推進するため、小倉北区京町三丁目14番地区において次世代仕様のオフィスの建設を行う
者などに対して、整備費の一部を補助

拡充・一人一花運動推進事業 8百万円

花による共創のまちづくりを推進するため、市民の花づくり活動のサポート、企業や若者世代に向け
た一人一花運動の広報PR、福岡県や福岡市との継続した連携を図るための取組などを実施

・旧小倉合同庁舎等跡地活用事業 100百万円

小倉の中心部に位置する旧小倉合同庁舎跡地において、更なる賑わいを創出するためのイベント広場や、市民が憩い交流するスペースの整備を実施

・こどもまんなか公園づくり事業 7百万円

こども目線の公園づくりや子育て世代が憩える環境づくりを行うため、若者文化を取り入れた公園づくりの社会実験、インクルーシブな子ども広場の基本計画の作成等を実施

●彩りある「時」をつくる

新規・門司港滞在型観光強化事業 16百万円

門司港地区での回遊性の向上、滞在期間の長期化など滞在型観光を強化するため、空き家や古民家等の既存ストックを再生・活用してエリアマネジメントを行う「まちづくり会社」設立に向けた調査・検討や事業計画の策定を実施

・紫川ナイトスペクタクル事業 10百万円

インバウンドをはじめとした来街者等によるナイトタイムエコノミーの創出や、出会い・交流の場の提供など、賑わいの創出を通じた市民の暮らしの質の向上を図るため、民間等の周辺イベントと連携しながら、紫川周辺エリアのポテンシャルを活かした光・音のショー等の煌びやかなナイトコンテンツを提供

「安らぐまち」の実現

●生活基盤の「安心」を支える

・まちなか居住移転支援事業 16百万円

持続可能な都市経営の実現に向け、災害から市民の生命・財産を守るとともに、まちなかの活力を維持増進するため、区域区分見直しによる市街化調整区域への編入区域等からまちなかへの移転支援を実施

・空き家対策事業 167百万円

空き家の増加を抑制するため、空家等対策計画の見直しを行うとともに、空家等管理活用支援法人等の官民連携により空き家対策を強化

・マンション管理適正化推進事業 12百万円

市内のマンション管理の適正化を推進するため、マンション管理士派遣事業などの取組を行うとともに、市内のマンションの実態調査を実施

●暮らしの「安心」を支える

・地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」 200百万円

公共交通空白地域における地域住民の生活交通を確保するため、おでかけ交通を運行するタクシー事業者や車両の小型化により路線を維持するバス事業者への運行支援等を実施

【問合せ先(全体に関すること)】
都市戦略局 総務課
TEL 093-582-2523